

ブラジルに対する省エネ支援事業（第1次専門家派遣）を実施しました。

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター(ECCJ)は、経済産業省の委託を受け、ブラジルの省エネ推進のため、以下のプログラムによる協力を3年計画（平成27年～平成29年度）で実施中です。

- (1) 協力工場(4工場)でのISO50001に基づくモデル的エネルギー管理体系の構築普及。
- (2) エネルギー管理規則や省エネ推進支援制度の整備や改善の提案作成。
- (3) 節電・ピークカットの為にアクションガイドブックの策定と普及。

ECCJは2017年7月15～27日に専門家派遣を実施し、ブラジル開発商工省と平成29年度の実施計画を決定するとともに、官民の関係団体の活動の進捗を確認・助言しました。



- (1) ISO50001に基づくモデル的エネルギー管理体系の構築に関して、亜鉛精錬、自動車製造、アルミ製品製造の3協力企業のエネルギー管理システム(EnMS)の構築状況を聴取し、各社が本プログラムの活動をほぼ終了した事を確認しました。各社とも、本事業の成果を海外事業所を含めグローバルに展開する予定で、より大きな効果が得られる事が期待されます。

また、これらの成果をブラジル国内の他企業へ水平展開するため、必要なデータを集約する普及報告書のテンプレートを確認しました。今後各社が普及報告書を作成する予定です。

- (2) エネルギー管理規則や省エネ推進支援制度の整備・改善に関して、作業グループの連邦政府の関係省庁およびサンパウロ州政府の関係者が一堂に会して、ブラジリアにて検討委員会を開催しました。委員会では、既存の省エネに係る法制度を確認し、不足する規則や支援策を具体的に共有しました。ECCJからは、既存省エネ法下にエネルギー管理制度を制定し、省エネ支援策を整備して運用することが効果的であり、エネルギー管理制度の要素や既存の金融支援策を活用するための改善を助言しました。

- (3) 節電・ピークカットの為にアクションガイドブックの策定と普及に関して、政府メンバー等により組織されたワーキンググループと草案の要点等を確認し、年内の草案完了を目指すことを確認しました。

以上のように(1)～(3)に対する取り組みは確実に進捗して効果を上げています。

次回は平成29年11月に再び現地を訪問して進捗確認とプロジェクト推進を行なう予定です。